

整理番号	50-1	事務事業名	花ホールボランティア育成事業	作成部署	生涯学習部 芸術文化ホール	電話	372-7667	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内平一郎	課長職名	廣吉正則	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H11	根拠法令等	なし					
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	平成10年10月1日、芸術文化ホールのオープンを契機に、ホール主催事業等を市民ボランティアがサポートする制度を導入。市民が、ボランティアとして積極的に活動していくために必要な基本的事項を学習する機会のほか、参加した市民の相互交流促進などを目的として開始した。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐくむまち	(第4章)
	節	芸術と文化	(第4節)
	施策	市民等とのパートナーシップ	(第3施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	ホールでのボランティア活動希望者及び「花ホールスタッフの会」の会員	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	芸術文化ホールの主催事業等をサポートしているボランティア組織「花ホールスタッフの会」の会員拡充を図るため、ボランティア活動の意義や取り組む姿勢、接客の最前線としての資質を高める研修など実施し、活動者数を増やすとともに、市民の相互交流を促進し、市民とのパートナーシップによるホール運営を目指す。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(補助金等の場合は団体等の活動内容)	16年度まで	H11年度 ~ 「ボランティア養成講座」(初級編) H12~13年度 ~ 「ボランティア養成講座」(初級編) 「スタッフの会研修会」(中級編) H14年度 ~ 「ボランティア養成講座」(初級編) H15年度 ~ 「ボランティア養成講座」(初級編) H16年度 ~ 「ボランティア養成講座」(初級編)
		17年度	「花ホールボランティア養成講座」...ボランティア活動の意義や取り組む姿勢、接客の最前線としての資質向上を図るための講座を開催。

2 実施(ドゥ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	40	90	90
	合計	0	40	90	90
人件費(概算)	人数(年間)	0.06	0.05	0.05	0.05
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	540	450	450	450
総事業費 +		540	490	540	540

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	「ボランティア養成講座」開催数	4	10	10	10
	「ボランティア養成講座」受講者数	7	11	15	15
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	「ボランティア養成講座」受講後登録者数	6	10	15	15
	「花ホールスタッフの会」活動者数	43	48	60	75
	ホール自主事業公演アンケート結果	-	-	-	-
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	研修会1回当たり評価コスト	77	45	36	36
	(総事業費 ÷ 評価受講者数)				

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等  
市民ボランティアがホール主催事業等をサポートしている公共ホールは少ないが、厳しい財政状況の中で、市民との協働という観点から、今後は市民ボランティアがホール事業に関わっていく例は増えると予想される。

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	社会教育施設である公共ホールとして、協働の観点からボランティア養成を市が行なうことは妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	花ホールスタッフとして活動する上でボランティア活動の意義や接客サービスの研鑽を積むことは必要不可欠である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。他の手段や委託化などの可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	養成講座は、外部講師による他、ボランティア会員の生の声や実践に則した実習を取り入れた内容となっている。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	受益者負担の余地はない。	

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	「花ホールスタッフの会」の接客などが高く評価されている。今後は会員の確保が課題となっている。	魅力ある養成講座を企画・実施し、参加者を増やすことにより、会員数を確保していく。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率的 かなり非効率的	「花ホールスタッフの会」が自主性を持って後進を育成するなどの活動していくことが重要である。	過去に受講し、現在、活動している「花ホールスタッフの会」会員の意見を取り入れながら自ら講座内容について検討を加えていく。

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	市民と協働によるホール運営という行政視点、管理運営面における行政コストの低減という視点から、市民参画によるホール運営を目指し、「花ホールスタッフの会」が主体的に活動する分野の充実を図る。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり